

栗原地域だより

第 26 号

平成 28 年 7 月 1 日発行

目次

- 夏の栗原を楽しもう！ p1
- 栗原市営深山牧野で放牧がはじまりました p2
- 地域産品の販売力アップを目指して！ p3
- よみがえれ豊かな森！ p3
- ツキノワグマの目撃が急増しています！ p4
- 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨による堤防決壊箇所の復旧状況について p5
- 『消費生活パネル展 in 栗原市立図書館』を実施しました！ p6
- 今年度から新たに 2 地区のほ場整備事業がスタートします p7
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p8

夏の栗駒山登山



夏の栗原を楽しもう！

～仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン 2016 が始まりました～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

「仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン 2016」が 7 月 1 日から始まりました（9 月 30 日まで）。ユリ、栗駒山の高山植物、ハスなど、夏の栗原は花の見どころがたくさん！夏のお出かけはぜひ、栗原へ。花のきれいなおすすめポイントを紹介します。

①南くりこま高原一迫ゆり園

30,000 m²の園内にユリ約 200 品種 15 万球、ハメロカリス約 50 品種 2 万株が咲き誇り、美しい彩りと香りで来場者を楽しませてくれます。

- 問い合わせ：0228-52-4551
(南くりこま高原一迫ゆり園)

- 場所：栗原市一迫真坂清水堰田
- 期間：6 月 17 日～7 月下旬 8:30～17:00
- 料金：一般 670 円、小中高校生 310 円

②栗駒山麓トレッキング

多くの高山植物が咲く栗駒山は夏のトレッキングにぴったり。さまざまなコースがあるので、初心者から上級者まで、それぞれ自分のペースで登ることができます。

標高 1,626m の山頂からは月山・鳥海山・蔵王連峰、そして遠く太平洋まで一望できます。事前に申し込みば、山岳ガイド（有料）の手配も可能です。

- 問い合わせ：0228-25-4166（一般社団法人 栗原市観光物産協会）



色とりどりに咲き誇るユリの花

③伊豆沼・内沼はすまつり

夏真っ盛りの8月には、伊豆沼・内沼の沼一面が淡いピンクのハスの花でいっぱいになります。沼全面に広がる美しい光景に息をのむこと間違いなし。期間中は、船でハスの花を間近に見ることができます。

また、沼の周囲を巡るサイクリングはいかがですか。爽やかな風を感じながら走れば、リフレッシュだけでなく、ちょうどいい運動にもなりますよ。

- 問い合わせ：0228-22-1151（栗原市田園観光課）
 - 遊覧船乗船場所：若柳会場（伊豆沼）：宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター付近
築館会場（内沼）：内沼サンクチュアリセンターつきだて館付近
 - 期間：7月20日～8月31日 8:00～16:00
 - 料金：大人700円、子供400円
- ※レンタサイクルに関する問い合わせは、0228-25-4166（栗原市観光物産協会）まで



沼一面に咲くハスの花

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel：0228-22-2195

栗原市営深山牧野で放牧がはじまりました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

5月24日、栗原市栗駒の栗原市営深山牧野が開牧し、牛の放牧が始まりました。放牧は、東京電力福島第1原発事故の影響により一時休んでいましたが、除染作業を実施し、牧草の安全性が確保されたことから平成25年に再開され、今年で4年目になります。

今年は、75頭の黒毛和種繁殖雌牛が入牧し、栗駒山を背景に、馴致用の放牧場に放たれ、ゆったりと草を食べていました。今後、75頭の牛は、健康状態や繁殖ステージごとに群分けされてから、広大な牧野に放牧されることとなります。

放牧は牛の足腰を強め、健康で丈夫な牛づくりに大きな役割を果たします。また、放牧期間中は牛の健康管理のため、定期的に検査も行われます。秋の下牧（閉牧）に向けて放牧される牛が追加され、牧野も一段と賑やかになることでしょう。

■お問い合わせ 畜産振興部 畜産振興班
Tel：0228-22-2487



馴到用放牧場の牛たち



広大な牧野

地域製品の販売力アップを目指して！ ～商品開発塾の開催～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原地域では、豊かな農林産物等を活かし、農商工連携や6次産業化の取組による商品開発が行われています。リピーターを獲得する商品がある一方で、販路の拡大や収益性の確保が思うようにいかない、といった声も聞かれます。こうした現状を踏まえ、販路開拓の専門家の視点で商品のブラッシュアップについて学ぶ研修会を全3回シリーズで開催しています。（一般社団法人栗原市観光物産協会との共催）



セミナーの様子

「～売れる商品をつくる～ ブラッシュアップ商品開発塾」と題して開催した第1回、第2回の研修会では、地域産品の開発・販路開拓・営業支援の専門会社である、株式会社ゴールドボンドから販路開拓コーディネーターを講師に招き、内部（自社）分析や他社・市場といった外部分析を行う際のポイント、商品価格や販路の設定方法等について講演いただき、参加者は熱心に聞き入っていました。

今後開催する第3回の研修会では、地域産品の製造・販売に関する参加者からの疑問や悩みについて、講師から答えていただくことを予定しています。

当事務所では、地域産品の販売力アップに向け、今後も支援を行ってまいります。

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel：0228-22-2195

よみがえれ豊かな森！ ～被災地をつなぐ森林づくり～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

4月22日に石巻市立桃生中学校1年生の生徒65名が、栗原市花山地区を訪れ植樹活動を行いました。この活動は県内で自然体験活動を行っている団体「森のなかま」が主催しており、東日本大震災により被災した沿岸部の子どもたちが、岩手・宮城内陸地震の被災地での森林づくりを通して被災地間の絆を深めていくことを目的に、平成23年から毎年行われているものです。



「大きく育って」と願いを込めて
木を植える生徒たち

植樹を行った場所は、岩手・宮城内陸地震の崩落跡地のため、苗木が育つには苛酷な環境であり、過去に先輩たちが植えた苗木の中には、枯れた木も多くあります。このため今年は、枯損木を植え替える「補植」を行いました。

当事務所では、植樹活動への支援として、唐鋤（苗木を植えるための鋤）の扱い方の安全指導のほか、木が成長し森が育つことにより土砂災害の防止につながることを、森を源流として水が川から海へと流れていき海の生き物が育まれることなどについて説明を行い、生徒たちは熱心に聞き入っていました。前日に降った雨の影響でぬかるみに苦戦しながらも、生徒たちは慣れない唐鋤を一生懸命ふるい、無事に作業を終えました。

中学校では、今後も森林づくり活動を継続していきたいとのことで、当事務所でも主催者の「森のなかま」と連携を図りながら森林の役割などを生徒たちに伝えるとともに、被災地間の交流活動を支援してまいります。

■お問い合わせ 林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381

ツキノワグマの目撃が急増しています！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

今年は、県内でツキノワグマ（以下クマ）の目撃件数が大変多くなっています。

栗原市内でも4、5月の2か月間で52件の目撃があり、これは平成20年度以降最も多い件数です。クマの目撃は早朝や夕方に多い傾向がありますが、今年は時間帯に関係なく昼間の目撃も少なくありません。

目撃が急増している背景には、春に子グマが多く生まれたことや雪解けが早かったため早い時期からクマが活動していることなどが原因と考えられます。また、今年は冬眠時期まで目撃が多い状態が続く可能性があります。特に、山に餌が少なくなる7～9月は、餌を求めて人里近くまで来るため例年目撃件数が多い時期です。このため



森の中のツキノワグマ
(栗駒文字荒砥沢で撮影)

め今後は、農作物への被害や農作業中の出会い頭事故が心配されます。農作業中は鈴やラジオなどで音を出し、クマに人がいることを知らせるようにしてください。ただし、人がいないのにラジオを鳴らし続けるとクマが慣れてしまう恐れがあるため避けるようにしてください。

また、農作物を畑に放置するのは「餌づけ」と同じで、クマは「農作物は食べてもいいもの」と学習してしまい、集落へ呼び寄せる原因になります。イノシシやハクビシンなどクマ以外の野生鳥獣対策にもなりますので、規格外品の農産物についてもきちんと始末しましょう。

今年は「どこにでもクマがいる」を念頭に野外活動を行うよう心がけましょう。

■お問い合わせ 林業振興部 森林管理班 Tel：0228-22-2133

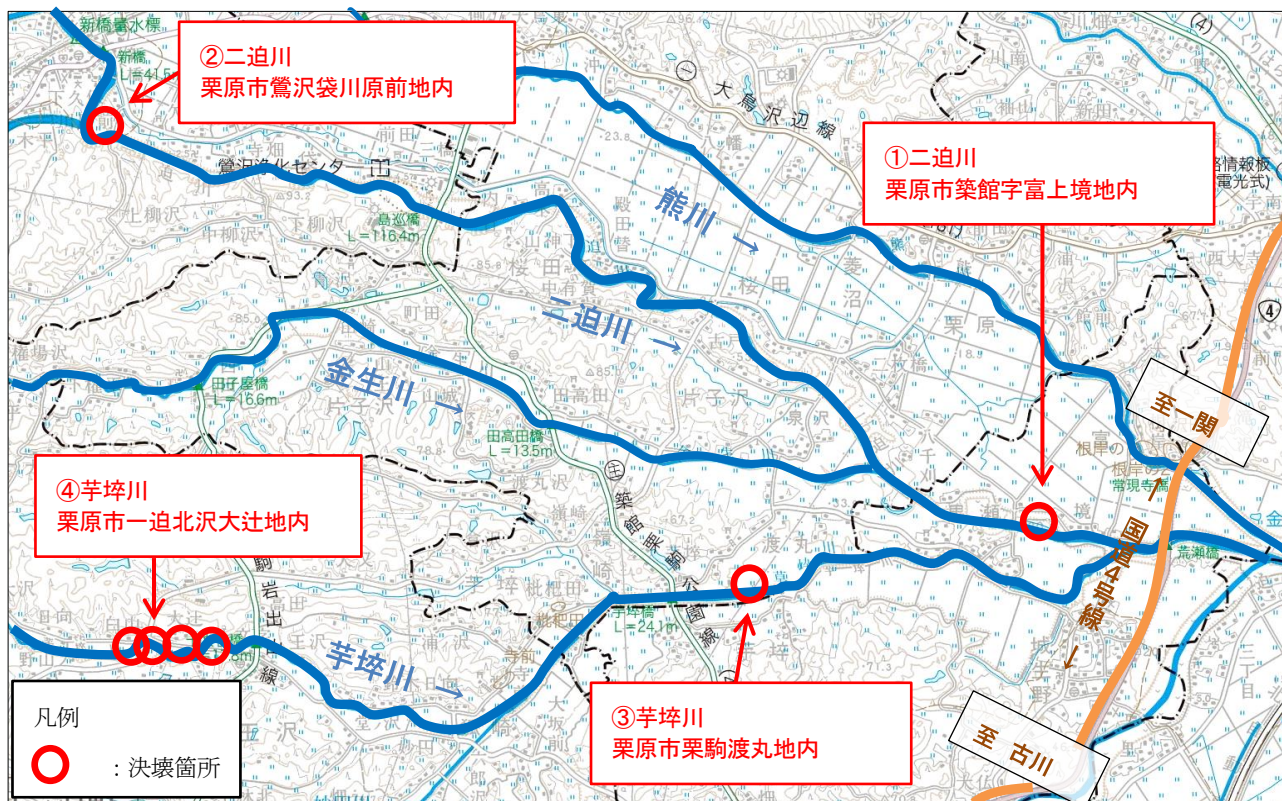
平成 27 年 9 月関東・東北豪雨による堤防決壊箇所の復旧状況について

北部土木事務所栗原地域事務所

当事務所では、昨年 9 月の関東・東北豪雨により、河川、道路、橋梁など 200 を超える箇所で甚大な被害が発生したことから、現在、災害復旧事業に取り組んでいるところです。

堤防が決壊した二迫川と芋埜川の 7 箇所については、被災直後に実施した応急工事に引き続き、来たるべき出水期に備え、優先して本復旧工事を実施してきたところです。

残る被災箇所についても、一日も早い復旧に向けて取り組んでまいりますので、工事へのご理解とご協力をお願いいたします。



●堤防決壊箇所の復旧工事状況（代表的な工事箇所）

①二迫川 栗原市築館字富上境地内

被災時



復旧状況



②二迫川 栗原市鶯沢袋川原前地内

被災時



復旧状況



③芋塚川 栗原市栗駒渡丸地内

被災時



復旧状況



④芋塚川 栗原市一迫北沢大辻地内

被災時



復旧状況



■お問い合わせ：北部土木事務所栗原地域事務所 河川砂防班 Tel：0228-22-2193

『消費生活パネル展 in 栗原市立図書館』を実施しました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

県民サービスセンターでは、消費者トラブルの発生を未然に防ぐことを目的に消費トラブルに関する最新情報を展示するパネル展を定期的を開催しています。

6月は、6月1日から30日までの1か月間、市民の方々が多数利用している栗原市立図書館に出向いて、熊本地震に便乗した不審電話情報や若者向けにネットトラブルやマルチ商法に関する情報などをパネル展示しました。



「消費生活パネル展 in 栗原市図書館」の様子

7月も、7月20日から29日の期間、イオンスーパーセンター栗原志波姫店に出向いて、子どもに関するトラブル防止をテーマに出張展示を行う予定です。皆さん、ぜひご覧ください。

なお、パネルの貸し出しも行っておりますので、お気軽にご相談ください。

■お問い合わせ 総務部 県民サービスセンター 消費生活相談窓口 Tel：0228-23-5700

今年度から新たに2地区のほ場整備事業がスタートします
～迫第四地区（瀬峰ほか）、沼田・八木地区～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

今年度から、新たに次の2地区ではほ場整備事業がスタートします。

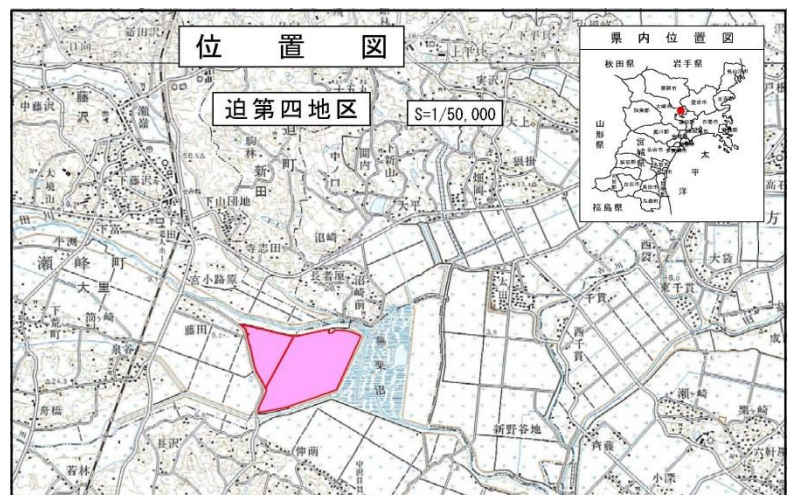
○迫第四地区（はさまだいよんちく）

蕪栗沼の上流側、栗原市瀬峰と大崎市田尻に広がる約96ヘクタールの水田を、平成35年度までの8年間の計画で工事を行います。当地はラムサール条約に指定された水鳥の飛来地となっていることから、より環境に配慮した工事を予定しています。

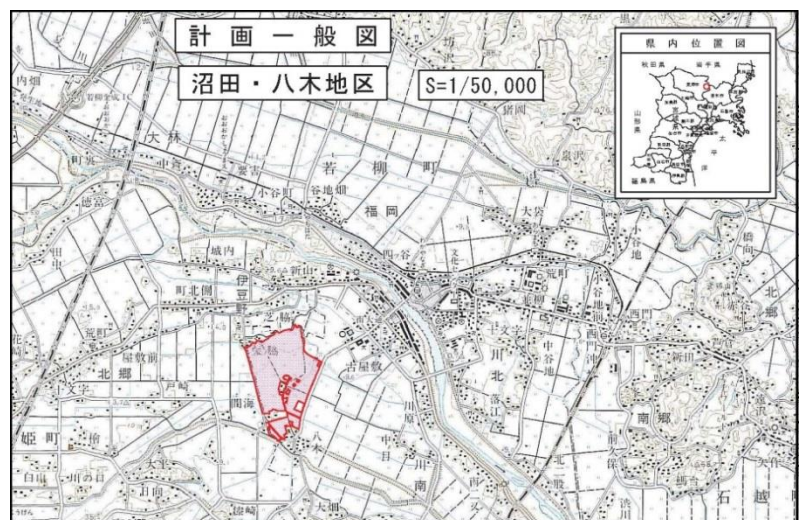
○沼田・八木地区（ぬまた・やぎちく）

若柳総合支所の南にあるカントリーエレベータ付近の約66ヘクタールの水田を平成33年度までの6年間の計画で工事を進めます。一級河川迫川を水源に新山揚水機で取水して灌漑します。

両地区とも、1枚の田んぼの大きさは1ヘクタールを標準とし、道路（敷砂利）の幅は5メートルを確保し、暗渠排水などの工事を行う予定です。



迫第四地区位置図



沼田・八木地区位置図

■お問い合わせ 農業農村整備部 農地整備第一班 Tel：0228-22-2401

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 28 年 4 月 18 日～6 月 17 日)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

4 月 18 日から 6 月 17 日までの間に農林産物 52 点を簡易検査し、すべてが食品の基準値（100 ベクレル/kg）以下で、基準値の 2 分の 1（50 ベクレル/kg）を超え、精密検査が必要になる食品はありませんでした。

市場に流通している農林産物は計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの（4/18～6/17）

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
アロエ	◎	—	あいこ	—	◎	—
うめ	—	◎	うど(2点)	—	◎	◎
カリフラワー	—	◎	うるい	—	◎	—
キャベツ(2点)	—	◎	しどけ	—	—	◎
きゅうり	—	◎	たけのこ(9点)※	—	—	◎
しゅんぎく	◎	—	たらのめ(2点)	—	◎	—
せり	—	◎	ふき(2点)	—	◎	◎
セロリ	—	◎	みず	—	—	◎
だいこん(3点)	—	◎	わらび(3点)	—	—	◎
たまねぎ	—	◎				
ちぢみな	—	◎				
チンゲンサイ(2点)	—	◎				
つぼみ菜(2点)	◎	—				
トマト	◎	—				
にら(2点)	—	◎				
ねぎ	—	◎				
のらぼう菜	—	◎				
はくさい	—	◎				
ほうれんそう	—	◎				
みずな	—	◎				
レタス(4点)	—	◎				

◎：基準値以下 —：検査未実施

※「たけのこ」は、出荷制限解除地域において登録者が生産したもの

食品群	基準値(1kgあたり)
飲料水	10 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
一般食品	100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP を
ご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html

- お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel：0228-22-9437（農産物）
林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381（林産物）

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）
〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284
E-mail：nk-khsinbk@pref.miyagi.jp
ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号（第 27 号）は 9 月 1 日発行予定です。